

# 患者さんパンフレット

四国がんセンター  
消化器外科



私たち医療スタッフは

- I、入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします
  
- II、手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



# 膵頭十二指腸切除術 受けられる方へ

さま

---

四国がんセンター  
消化器外科 病棟

主治医

---

受持ち看護師

---

2005年2月28日 作成  
2023年10月5日 改定

# 手術後の合併症について

膵臓の手術を受ける患者さんの約3割が、手術の後の合併症で、一時的に食事が通りにくくなる傾向があります  
膵臓と胃は食べ物の消化において重要な役割を果たしています

手術を行うことにより・・・

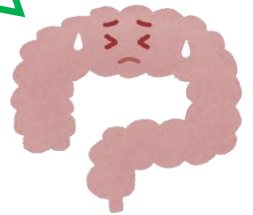
- 膵臓が小さくなる
- 胃の一部が無くなる

- 全身麻酔をする
- 手術後の絶食
- 手術後の安静
- 痛み止めの使用

消化不良になりやすい



一時的に腸の動きが鈍くなる



手術の後1週間～10日目頃に胃と腸をつないだところが腫れ食べ物が通りにくくなるためこの時期は特に注意してください

症状が出たときには、薬を使ったり食事形態を変更し症状悪化を防ぎます症状は一時的なものなので、安心してください

## 【主な症状】

- ・めまい、吐き気、冷や汗、お腹がはる
- ・つかえ感、胸やけ
- ・下痢、便秘



これらの症状を予防するために、手術後には**食事のとり方を工夫する**必要があります  
手術前から食事のチェックリストに沿って、食事のとり方を練習しておきましょう  
また、胃や腸の動きを良くするためにも手術前から**体を動かすこと**が大切です

## 手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在服用しているお薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は、必ずお申し出ください
- 爪は短く切り、マニキュア、ペディキュア、ジェルネイル、スカルプネイルをされている方は、入院前に落としておいてください
- まつげのエクステンションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- ねまき
- 術衣（手術後用）、病衣
- バスタオル 2～3枚
- タオル 2～3枚
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ（マジックテープ式） 2枚
- 腹帯 2～3枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み
- 水のペットボトル 500ml 1本

「CSセットのご案内」冊子を参考にしてください

「入院される方へ」のパンフレットを参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚  
（靴、パジャマ、下着などを入れるために使います）



\*病衣は普段よりひとサイズ大きいものを準備してください

\*ICUに入室する方は、タオル、バスタオル、ティッシュペーパーなどご自身の持ち物に氏名をお書きください

**※同意書がお手元にある方は、忘れずお持ちください**

### 医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前  
営業時間 8:30~17:00  
定休日 土・日・祝日・年末年始  
電話 (089) 999-1129



# ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフ目標もあげています

入院は約3週間～4週間の予定です

手術後の回復は個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





### 今日の目標

- 手術について理解できる
- 手術に必要な物を準備できる

<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 • 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食 • 検温、血圧測定、身体測定 • 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り • 禁煙の確認 • 歯科受診 • 術前呼吸、機能訓練 • 医師より手術の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きください • 説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください 印鑑は必要ありません • わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食 <お薬> • 他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします  <食事> • 特に制限はありません • 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります • 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
21:30	消灯

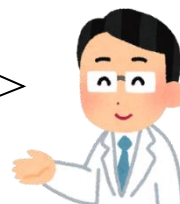
食事チェックリスト	○または×
①30分以上の時間をかけて食事をすることができる	
②食後30分以上座ることができる	



ご家族の方へ  
手術後3週目頃に、栄養士より手術後の食事の注意点や工夫について説明があります（体調に応じて日程が変わることもあります）  
ご家族の方も一緒に説明をお聞きください

### 医療スタッフの目標

- 入院生活や手術に対する不安がないよう支援します
- 手術の準備をすすめられるよう支援します





**今日の目標**

- 手術について理解できる
- 手術に必要な物を準備できる

<時間>	<予定>	
6:00	起床	<活動> ・活動に制限はありません
7:30	朝食	
10:00	検温	<手術前の準備> ・手術までに、全身の検査を行います 詳しくは検査についての説明用紙をお渡しします 看護師が事前にオリエンテーションを行います ・術前呼吸、機能訓練、吸入 ・手術に必要な物の準備をしましょう
12:00	昼食	
18:00	夕食	わからないことやもう少し詳しく説明を 聞きたいことなどがありましたら、 遠慮なくお尋ねください
21:30	消灯	



食事チェックリスト	○または×
①30分以上の時間をかけて食事をする事ができる	
②食後30分以上座ることができる	

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

**医療スタッフの目標**

- 手術に対する不安がないよう支援します
- 手術の準備をすすめられるよう支援します





## 手術前の機能訓練

体を動かすことにより、痰を出しやすくし、血液循環を良くして傷の治りを早めます  
また腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

### ●深呼吸

- ①仰向けに寝て全身の力を抜きます
- ②鼻から大きく息を吸います
- ③口からゆっくりと息を吐き出します  
吸う息より吐く息の方を長めにしましょう



### ●痰の出し方

- ①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて、小さな咳を2～3回して、痰を徐々に上に上げていきます
- ②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

### ●うがい

うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう  
痰も出しやすくなります

- ①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします
- ②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します  
このとき飲み込まないように注意しましょう



## ●体の動かし方

麻酔がさめたら、横向きになってみましょう

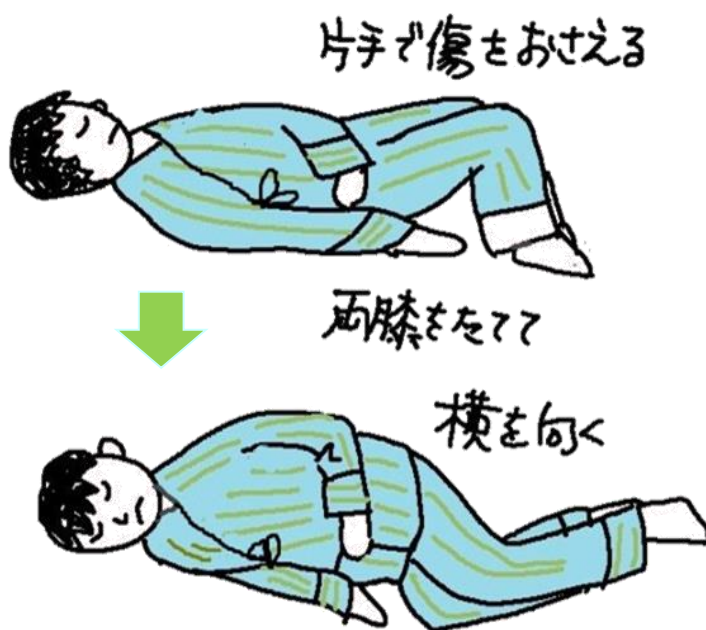
手術後に体を動かすことは、痛みをともないつらいと思いますが、

- (1) 痰を出しやすくする
- (2) 血液循環を良くして傷の治りを早める
- (3) 腸の動きを良くしてガスを出す

など、回復を早めることができますので、積極的にがんばりましょう

### —横の向き方—

- ①傷口を片手で押さえ、両膝を立ててお腹の筋肉をゆるめます
- ②腰を浮かせて体を向ける反対側へ腰の位置をずらします
- ③ゆっくりと体を横に向けます



### —起き上がり方—

- ①ベッドのリモコンを操作してゆっくり90度まで起こします
- ②足をベッドから下ろします
- ③手をベッドについて、ゆっくりと体を起こします



今日の目標

- 手術について理解できる
- 手術に必要な物を準備できる

<時間>	<予定>	<活動>
6:00	起床	<活動> ・活動に制限はありません
7:00	体重測定	<手術前の準備> ・横になったままでうがい、深呼吸、体の動かし方の練習をしましょう ・必要時、おへその掃除や毛そりをします ・シャワー浴をしましょう
7:30	朝食	
10:00	検温	・爪は短く切り、マニキュア、ペディキュア、ジェルネイル、スカルプネイルをされている方は落としておいてください ・まつげのエクステンションをされている方は、お知らせください
12:00	昼食	・男性はひげをそりましょう ・排便を促すため14時に下剤を服用します
14:00	下剤の服用	・必要物品の確認をします ・手術室へ行くときは、歩行、車椅子、ストレッチャーのいずれかを選択できます 希望の方法を看護師にお知らせください ・手術当日に服用する薬がある場合は、看護師よりお知らせします
18:00	夕食	・21時頃に安定剤（睡眠剤）を服用することができます ・21時以降は食べることができません
21:30	消灯	手術の3時間前まで水分はとってこまいません

手術室の看護師から説明があります  
 ICU（集中治療室）に入室する場合は、ICUの看護師から説明があります

食事チェックリスト	○または×
①30分以上の時間をかけて食事をすることができる	
②食後30分以上座ることができる	

医療スタッフの目標

- 手術に対する不安がないよう支援します
- 手術の準備をすすめられるよう支援します





## 手術前の目標

- ・ 予定どおりに手術を受けることができる

&lt;時間&gt;

&lt;予定&gt;

引き続き絶食です  
手術の3時間前まで水分を  
とってかまいません

6:00

起床

7:00

検温

医師の指示がある方は少量の水でお薬を服用します

【薬剤名： 】

10:00

午後手術の方は点滴を行います

手術30分  
～1時間前

洗面、歯磨き、トイレを済ませてください

お渡しする**手術衣**に着替えます

手術時に貴金属を身に付けているとやけどをすることがあります

安全に手術を行うために以下のものは全て外して準備してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて手術室に行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

検温

手術  
5分前

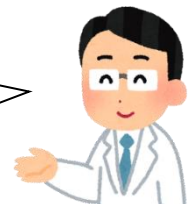
看護師と一緒に（ 歩行 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー ）で手術室へ行きます

ご家族の方の付き添いは、エレベーターホールまでとなります

※貴重品は、ご家族の方が保管してください

## 医療スタッフの目標

- ・ 予定どおりに手術が受けられるよう支援します



## ご家族の方へ

手術当日は手術開始予定時刻の30分前までにお越しください  
手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）  
**必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします**  
手術後、主治医から手術の結果について説明があります  
他の患者さんの手術の関係で、手術後すぐに説明できない場合は  
お待ちいただくことをご了承ください

## ICU（集中治療室）に入室する患者さんのご家族の方へ

手術後ICU前室にて医師より手術結果について説明があります  
手術が終わりましたら、病棟看護師がICUへ案内します  
手術当日は来院に30分以上かかる場合は、患者宿泊施設「向日葵」に  
宿泊をお願いしています  
\* ICU面会時は、患者さん用エレベーターをご利用ください

病室にて付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので、  
看護師にお申し出ください  
布団のレンタルを希望される場合は、2階 医療品ショップ「くろ～ば～」  
でお尋ねください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



### 手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

#### 検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、2時間、3時間に行います（これ以外も必要なときに測定します）

#### 血糖測定

- ・帰室時、18:00に行います

#### 深呼吸

- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

#### うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）
- ・医師の許可があるまで、飲水はできません

#### 活動

- ・ベッドの頭もとを少し上げます
- ・足首の屈伸や膝立、腕の運動は痛みがない程度に自分で行いましょう
- ・体を横向きにするときは看護師がお手伝いします

#### 手術後の傷

- ・傷口はガーゼで保護しています

#### 背中の管（硬膜外麻酔）

- ・背中（硬膜外）に入った管から、痛み止めのお薬が持続的に入ります
- ・痛みを我慢する必要はありません
- ・痛みが強い場合は追加で痛み止めを使います

#### 排液のための管

- ・溜まった血液などを出すために、手術をした部位に管（ドレーン）が入ります

#### 医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



# 手術後の患者さんの様子

## 心電図モニター

- 手術後の状態を安全に管理します
- 血圧を測定するための点滴の管が動脈に入っています

## 血圧計

- 適宜測定します

## 酸素マスク

麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます

## 酸素濃度測定器

体の酸素の状態を観察します

## 点滴

手術の後は飲んだり食べたりできないため点滴があります  
点滴は首または鎖骨のあたりから行います

## 尿管

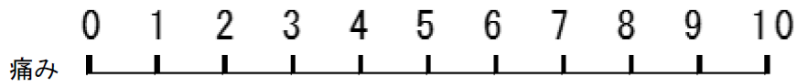
手術中に尿をとる管が入ります

急に動くとチューブ類が抜ける場合がありますので、体の向きを変えたいときは看護師にお知らせください

## 手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）  
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

### 1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど  
ひどい痛み

### 2) フェイススケール



0  
痛みがない



2  
少しだけ  
痛い



4  
もう少し  
痛い



6  
もっと痛い



8  
かなり痛い



10  
もっとも  
痛い



# 手術1日目 月 日



## 今日の目標

- ・痛みなどの苦痛があれば我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・看護師と一緒に部屋の中を歩くことができる

<時間>

<予定>

0:00

血糖測定

6:00

起床

本日は絶食です

医師の診察後、水分摂取ができます

初めて水分をとるときは

看護師がお手伝いします

血液検査、血糖測定、尿検査、排液の検査

温かいタオルをお持ちします

ベッドに座って洗面、歯磨きをしましょう

酸素吸入を終了します（7:00～8:00頃まで）

尿量や排液の計測

回診

医師が診察を行い傷口のガーゼを交換します

鼻から胃の管が入っている場合は抜きます

10:00

心電図モニターを外します

12:00

血糖測定

13:00

ベッドに座って歯磨きをしましょう

ベッド横に立ってみましょう

状態が落ち着いていれば歩いてみましょう

（最初に歩くときは看護師と一緒にいきます）

体を拭き、着替えをします

看護師が手伝います

《ICU入室の方》

10～11時頃ICUから

病棟に戻る予定です

\*時間は前後する場合があります

あります

・検温は2～4時間毎に行います

・床ずれ予防のために2～3時間

毎に体位変換をお手伝いします

18:00

血糖測定

ベッドに座って洗面、歯磨きをしましょう

21:30

消灯

点滴は24時間続けて行います

## 医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます







# 手術2日目 月 日



## 今日の目標

- ・痛みなどの苦痛があれば、我慢せず医療スタッフに伝えることができる
- ・看護師と一緒に病棟内を歩くことができる

<時間>

<予定>

0:00	血糖測定
6:00	起床 検温、血糖測定 温かいタオルをお持ちします ベッドに座って洗面、歯磨きをしましょう
9:00	回診
10:00	検温 尿の管を抜きます 体を拭き、着替えをします 看護師が手伝います
12:00	血糖測定
14:00	検温
18:00	血糖測定
19:00	検温 ベッドに座って洗面、歯磨きをしましょう
21:30	消灯

本日は絶食です  
水分はとることができます

尿量や排液の計測

尿の管を抜いた後は尿量測定を行います  
初めてトイレに行くときは、  
看護師がお手伝いします

点滴は24時間続けて行います

### 管が入っているときの注意点

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

- 1: 部屋のトイレへ行くことができる
- 2: ナースステーション前まで歩くことができる
- 3: 病棟内を歩くことができる
- 4: その他 ( )



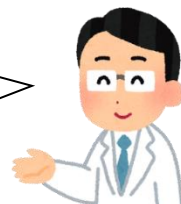
- 1
- 2
- 3
- 4

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

## 医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



# 手術3日目 月 日



## 今日の目標

- ・痛みなどの苦痛があれば、我慢せず医療スタッフに伝えることができる
- ・病棟内を歩くことができる

<時間>

<予定>

0:00	血糖測定	本日は絶食です 水分はとることができます
6:00	起床 検温 血液検査、血糖測定、尿検査、排液の検査	
7:00	体重測定	尿量測定は翌日の10時までに行いましょう
9:00	回診	
10:00	検温 体を拭き、着替えをします 看護師が手伝います 体調に合わせて洗髪ができます 看護師へご相談ください	排液の計測
12:00	血糖測定	管が入っているときの注意点 ・管は、 <u>引っ張らない、ねじらない、曲げない</u> ・バッグは、お腹より上へ <u>持ち上げない</u>
14:00	検温	
18:00	血糖測定	
19:00	検温	
21:30	消灯	

- 1: 病棟内を歩くことができる
- 2: 1日2回ナースステーション前まで歩くことができる
- 3: その他 ( )



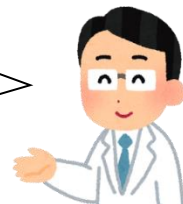
1  
2  
3

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

## 医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます





今日の目標

- ・病棟内を歩くことができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる
- ・下半身シャワー浴ができる

<時間>

<予定>

0:00	血糖測定
6:00	起床 洗面、歯磨き、血糖測定
7:00	血液検査、体重測定
9:00	回診、ガーゼ交換 前日の検査の結果でお腹の管の1本を抜きます 背中から入っている痛み止めの管を抜きます (翌日以降になることもあります)
10:00	検温 看護師から食事指導があります (時間は前後することがあります)
12:00	血糖測定、昼食(3分粥)
14:00	検温 体を拭きます 下半身はシャワー浴をしてみましよう
18:00	血糖測定、夕食(3分粥)
19:00	検温
21:30	消灯

管が入っているときの注意点

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

排液の計測

- ・点滴は24時間続けて行います
- ・痛み止めと胃薬の服用が始まります  
服用時間に看護師がお渡しします  
【痛み止め：1日3回 朝昼夕食後】  
【胃薬：1日2回 朝夕食後】

昼から食事が始まります  
食事チェックリストに  
沿って食事をしましょう

食事チェックリスト

○または×

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| ①背もたれを最大まであげて食べることができる    |  |
| ②食事摂取量を1/3以下にできる          |  |
| ③30分以上の時間をかけて食事をするることができる |  |
| ④食後30分以上座ることができる          |  |



医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます

## 食事の始まる方へ



健康な膵臓は消化酵素を分泌します  
胃から十二指腸に入ってきた食物は、この酵素の働きで  
分解され、小腸から吸収されます  
また、血糖のコントロールも行っています  
しかし、あなたの膵臓や胃の一部は手術により  
小さくなっています

そのために

- ・膵液の分泌が少なくなりました
- ・食物の影響により下痢や消化不良を起こしやすくなっています
- ・手術後は、胃や消化管の動きが一時的に悪くなり、胃の通過障害を起こすことがあります

吐き気やしゃっくり、実際に吐いたりすることがあります

場合によっては、絶飲食とし鼻からチューブを入れて治療することもあります

時間をかければ必ず軽快し、食べられるようになります

この時期は胃や腸の動きを良くするために、まめに歩きましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

## 起こしやすい症状とその対策

### ●つかえ感、胸やけ

#### <対策>

手術後1週間～10日前後は、腸との繋ぎ目が少し腫れてきて通りが悪くなる時期がありますが、時間の経過により自然になくなっていくのがほとんどです

つかえ感は食事を少量ずつゆっくりとすることで起きにくくなります

胸やけは、食物が逆流することで起こることが多いので、食後上半身を少し高くして休むとよいでしょう

1回にとる食事量が多いのかもしれませんが、摂取量を少し控えてみましょう

### ●下痢、便秘

#### <対策>

下痢のときは脂肪や繊維の多いものは避けましょう

水分をしっかりとって、脱水にならないように注意しましょう

便秘は胆管炎を起こすこともあるため、排便コントロールと規則正しい食習慣をつけることが大切です

寒さや震えを伴う発熱や上腹部痛を自覚したら、早めにご相談ください

### ●めまい、腹痛、吐き気、嘔気、冷や汗、お腹が張る、脈が速くなるなど

#### <対策>

食後30分以内に起こることがあります

しばらく横になって休みましょう

早食いなどで起こりやすいので、ゆっくり食事をとることで防げることがあります

### ●脱力感、ふらつき、冷や汗、眠気など

#### <対策>

食後2～3時間経ってから起こることがあります

一過性の低血糖症状ですので、糖分を補給することで改善できます

万一来てて、飴や氷砂糖を携帯するようにしてください

そこで、下記の注意をよく守って食事をしてください

- ゆっくりよく噛んで食べましょう  
(30分程度は時間をかけましょう)
- 1回の食事量は無理をせず少なめにしましょう  
食事開始から1週間は食べる量は3割程度にして  
おきましょう
- 食後20～30分は楽な姿勢で安静にしましょう  
(座って過ごすとい良いでしょう)





今日の目標

- ・病棟内を歩くことができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる
- ・下半身シャワー浴ができる

<時間>

<予定>

点滴は消灯まで行います

6:00

起床  
洗面、歯磨き

7:00

血液検査、血糖測定、尿検査、排液の検査、体重測定

7:30

朝食（5分粥）

排液の計測

9:00

回診、ガーゼ交換

管が入っているときの注意点

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

10:00

検温

11:30

血糖測定

12:00

昼食（5分粥）

MEMO

14:00

検温

体を拭きます  
下半身はシャワー浴をしましょう

17:30

血糖測定

18:00

夕食（5分粥）

19:00

検温

気になることや症状など  
書き留めておきましょう

21:00

血糖測定

21:30

消灯

食事チェックリスト

○または×

①背もたれを最大まであげて食べることができる

②食事摂取量を1/3以下にできる

③30分以上の時間をかけて食事をするることができる

④食後30分以上座ることができる



医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- ・病棟内を歩くことができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる
- ・下半身シャワー浴ができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 洗面、歯磨き
7:00	血糖測定、体重測定
7:30	朝食（全粥）
9:00	回診、お腹の管を1本抜きます ガーゼ交換
10:00	検温
11:30	血糖測定、体重測定
12:00	昼食（全粥）
14:00	検温  体を拭きます 下半身はシャワー浴をしましょう
17:30	血糖測定
18:00	夕食（全粥）
21:00	血糖測定
21:30	消灯

点滴は朝10時から消灯まで行います

排液の計測

管が入っているときの注意点

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

MEMO

気になることや症状など  
書き留めておきましょう

食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/3以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をするることができる	
④食後30分以上座ることができる	



医療スタッフの目標  
・手術後の合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- ・院内を散歩することができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる
- ・シャワー浴ができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 洗面、歯磨き
7:00	血液検査、血糖測定、尿検査、体重測定
7:30	朝食（全粥）
9:00	回診 傷を止めている金具を外します ガーゼ交換
10:00	検温
11:30	血糖測定
12:00	昼食
14:00	検温  シャワー浴をしましょう
17:30	血糖測定
18:00	夕食
21:00	血糖測定
21:30	消灯

点滴は日中のみです（本日で終了です）  
点滴の管は、体調に合わせて後日医師が抜きます

排液の計測

管が入っているときの注意点

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

本日より手術前と同じ食事に変更することができます

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/3以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をするることができる	
④食後30分以上座ることができる	



医療スタッフの目標

- ・安心して食事摂取できるよう援助します



今日の目標

- ・食後は散歩ができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる
- ・シャワー浴ができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 洗面、歯磨き
7:00	血糖測定 体重測定（月・水・金のみ）
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温
11:30	血糖測定
12:00	昼食
14:00	検温  シャワー浴をしましょう
17:30	血糖測定
18:00	夕食
21:00	血糖測定
21:30	消灯

排液の計測

管が入っているときの注意点

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/3以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をするることができる	
④食後30分以上座ることができる	



医療スタッフの目標

- ・安心して食事摂取できるよう援助します



今日の目標

- ・食後は散歩ができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる

<時間>	<予定>	
6:00	起床 洗面、歯磨き	血糖測定は、本日で終了です
7:00	血糖測定 体重測定（月・水・金のみ）	排液の計測
7:30	朝食	管が入っているときの注意点 ・管は、 <u>引っ張らない、ねじらない、曲げない</u> ・バッグは、お腹より上へ <u>持ち上げない</u>
9:00	回診	
10:00	検温	MEMO       気になることや症状など書き留めておきましょう
11:30	血糖測定	
12:00	昼食	
14:00	検温  シャワー浴をしましょう	
17:30	血糖測定	
18:00	夕食	
21:00	血糖測定	
21:30	消灯	

食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/3以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をするることができる	
④食後30分以上座ることができる	



医療スタッフの目標  
 ・安心して食事摂取できるよう援助します



### 今日の目標

- 体力回復のために散歩ができる
- 食事チェックリストに沿って食事ができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:00	体重測定（月・水・金のみ）
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温
12:00	昼食
14:00	検温
	シャワー浴、入浴をしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

**管が入っているときの注意点**

- 管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- バッグは、お腹より上へ持ち上げない

排液の計測

食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/2以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をするることができる	
④食後30分以上座ることができる	



**医療スタッフの目標**

- 安心して食事摂取できるよう援助します



### 今日の目標

- ・体力回復のために散歩ができる
- ・食事チェックリストに沿って食事ができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:00	体重測定（月・水・金のみ）
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温
12:00	昼食
	シャワー浴、入浴をしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

**管が入っているときの注意点**

- ・管は、引っ張らない、ねじらない、曲げない
- ・バッグは、お腹より上へ持ち上げない

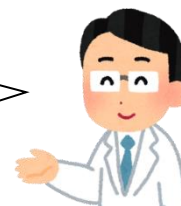
排液の計測

手術14日目より、消化剤2種類の服用が始まります  
 消化剤①：1日3回、毎食直後  
 消化剤②：1日2回、朝・夕食後

食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/2以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をするることができる	
④食後30分以上座ることができる	

### 医療スタッフの目標

- ・安心して食事摂取できるよう援助します





今日の目標

- 体力回復のために散歩ができる
- 食事を1/2以下にすることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:00	体重測定（月・水・金のみ）
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温
12:00	昼食
	シャワー浴、入浴をしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

栄養士より、手術後の食事の注意点や工夫について説明があります



食事チェックリスト	○または×
①背もたれを最大まであげて食べることができる	
②食事摂取量を1/2以下にできる	
③30分以上の時間をかけて食事をすることができる	
④食後30分以上座ることができる	



医療スタッフの目標  
 • 安心して食事摂取できるよう援助します

手術28日目～退院前日 月 日～ 月 日



### 今日の目標

- 体力回復のために散歩ができる
- 退院後の日常生活について理解することができる
- 退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:00	体重測定（月・水・金のみ）
7:30	朝食
9:00	回診 28日目以降にお腹の管を抜きます 抜かないで、退院となることもあります その場合は、管の管理について看護師が説明します
10:00	検温
12:00	昼食
	シャワー浴、入浴をしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

看護師より  
退院後の日常生活について  
説明があります



### 食事チェックリスト

○または×

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| ①背もたれを最大まであげて食べることができる     |  |
| ②食事摂取量を1/2以下にできる           |  |
| ③30分以上の時間をかけて食事をするすることができる |  |
| ④食後30分以上座ることができる           |  |



### 医療スタッフの目標

- 退院の準備をすすめられるよう支援します
- 退院後の日常生活に不安が残らないよう支援します

退院日 月 日



今日の目標  
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床  
検温

7:30

朝食

9:00

回診

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします  
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします  
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院  
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日 ( : ) の予定です

\* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります  
(状況に応じて検査があります)

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・退院後の日常生活に不安が残らないよう支援します





## 退院後の日常生活について

### ●食事

栄養のバランスに気をつけましょう

薄味を心がけましょう

一回にたくさんの量を食べないようにしましょう

食事を楽しくする工夫をしてゆっくり食べましょう

消化の良いものならなんでも食べても結構です

よく噛んで食べてください

消化の悪い脂っこいものは下痢をすることがあります

バランス良く食べるようにしましょう

万一に備えて、外出時には飴や氷砂糖を携帯するようにしてください



### ●排泄

規則的な排便習慣を身につけることが大切です

朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう

軽い運動や水分をとるようにしましょう

便秘気味の方は退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

便秘が続き、おならも出なくなり、吐き気や腹痛を伴う場合は、必ず医師の診察を受けるようにしてください

下痢のときは水分（スポーツ飲料など）を十分補給してください

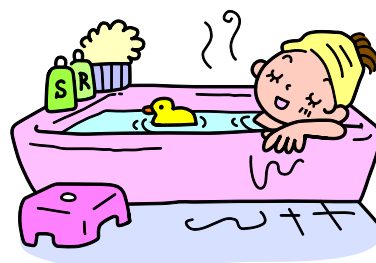
水分を控えることは逆効果です

### ●入浴

お風呂は今までどおりでかまいません

傷は十分くっついていきます

やさしく石けんで洗ってください





## ●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう  
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう  
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう  
長時間の自転車やバイク、自動車の運転は十分に気をつけ、  
徐々に慣らしていきましょう

運動や趣味について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

## ●仕事

重労働は、しばらく避けるようにしましょう  
これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が  
必要になることもあります  
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています  
私たちと一緒に考えていきましょう



### 【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

- ・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

- ・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- ・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

## ●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください  
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



## ●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 38.0℃以上の熱が続くとき
- 臍管や排液に異常があるとき  
「お腹の管（臍管）の管理方法について」ページ参照
- 数日間、食事や水分がとれないほど体調が悪いとき
- 便秘が続き、おならが出ず、吐き気や腹痛があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、  
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15  
四国がんセンター がん相談支援センター  
（直通番号） 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】  
日直/夜間当直師長  
（代表番号） 089-999-1111

\* 外来受診日や検査予約日の変更については、  
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15  
（直通番号） 089-999-1112



膵頭十二指腸切除術を受けられる方へ